

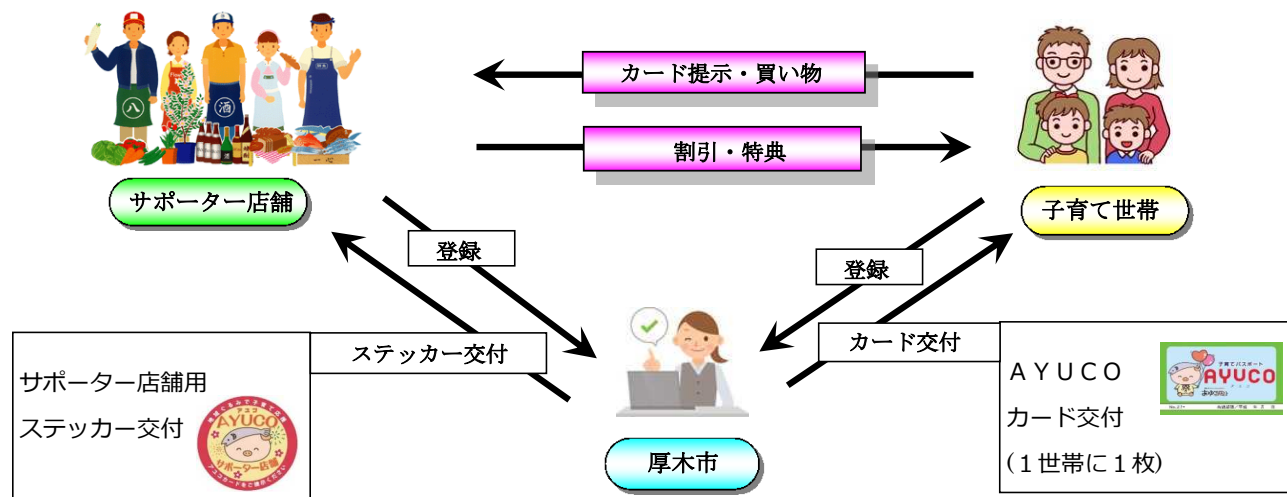
事業概要シート

担当部名	産業振興部	事業名 (子事業名)	子育てパスポート事業費
担当課名	商業にぎわい課	根拠法令・例 規・要綱等	厚木市子育てパスポートA Y U C O事業実施要綱
担当係名	商業振興係		
事業開始年度	平成18年度		

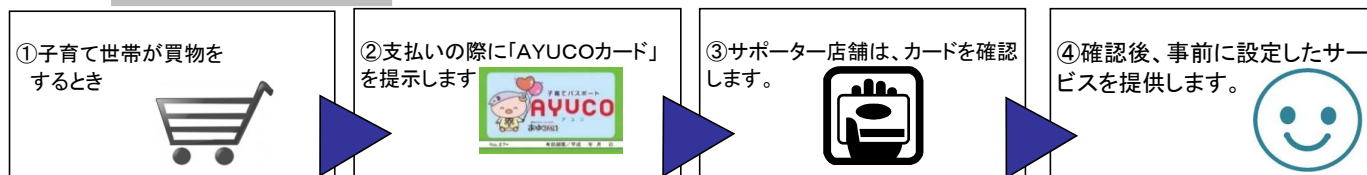
事業概要

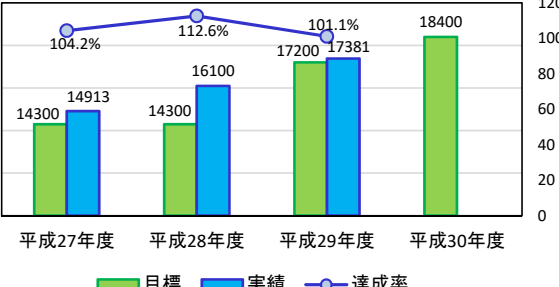
目的	社会的に関心を集めている少子化の傾向に対し、厚木市全体で子どもたちや子育て世帯を応援する風土の醸成と商業の振興を図ることを目的としております。
対象	18歳未満の子供と同居する世帯及び市内商店や企業等
事業詳細 (実施内容・ 実施手法等)	子育て世帯が、市内のサポーター店舗で買い物をする際、店舗の協力で設定いただいた割引や特典などのサービスを受けることができるカードを発行します。 なお、18歳未満世帯に対するカード発行世帯数は、平成29年度末で17,381件、約83%の世帯が所有をしています。(平成29年度末 厚木市の18歳未満世帯数は、20,846世帯) 1 カード発行対象者 18歳未満の子供と同居する世帯(1世帯につき1枚) 2 カード発行方法 (1) 即日発行→商業にぎわい課窓口、地区市民センター窓口で保険証等により身分確認を行う。 (2) 郵送発行→郵送、FAX、メール、マイタウンクラブ、子育て給付課窓口、市民課窓口において申請書を受け取り、後日商業にぎわい課において、世帯情報の確認を行う。 3 カード使用方法 サポーター店舗でお買い物をする際にカードを提示し、各種特典などのサービスを受けます。 4 サポーター店舗登録 厚木市内において、子育て支援に理解があり事業趣旨に賛同いただき、割引・特典等のサービスの提供が可能な商店・企業等とします。 ただし、公序良俗に反する場合や特定の宗教・政治団体と関わる場合は、サポーター店舗として登録できません。また、割引・特典等は各店舗で自由に設定いただき、登録内容を商業にぎわい課に提出いただきます。
事業の効果	子育て世帯の経済的負担の軽減と商店等の社会貢献イメージの向上を図り、地域社会において子育てを支援する社会的理解の醸成及び商業振興に繋がります。
事業の 周知方法・内容	①厚木市広報 ②厚木市ホームページ ③サポーター店舗及び公共施設等へのポスター掲出

事業の全体像(フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明)



カード使用の流れ



成果指標	指標名	累計登録世帯数				成果指標の推移グラフ			
	指標の説明	AYUCOカード新規登録世帯数(累計)				枚数			
		単 位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	%		
	目標	枚	14,300	14,300	17,200	18,400			
	実績		14,913	16,100	17,381				
	達成率		104.3%	112.6%	101.1%				
指標備考	登録店舗数の推移 H27:382店舗、H28:386店舗、H29:391店舗 登録世帯数の推移 H27:市内 14,520 H28:市内 15,675 H29:市内 16,942 :市外 393 :市外 425 :市外 439								

事業のコスト							
コスト	単位	平成28年度(決算)		平成29年度(決算見込み)		平成30年度(予算)	
	事業費	千円	76	80	3,869		
	人件費		2,583	1,842			
	経費総額		2,659	1,922			

人件費内訳	平成28年度人件費内訳(単位:千円)				平成29年度人件費内訳(単位:千円)							
	行政職1	@ 8,610	×	0.3人	=	2,583	行政職1	@ 8,623	×	0.2人	=	1,725
	行政職2	@ 8,472	×	人	=	0	行政職2	@ 8,594	×	人	=	0
	消防職	@ 8,719	×	人	=	0	消防職	@ 8,658	×	人	=	0
	再任用	@ 3,716	×	人	=	0	再任用	@ 3,228	×	人	=	0
	臨時職員	@ 1,197	×	人	=	0	臨時職員	@ 1,178	×	0.1人	=	118
その他	×	人	=	0	その他	×	人	=	0			

事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H28(決算)	76	76	0	0	0
	H29(決算見込み)	80	80	0	0	0
	H30(予算)	3,869	3,869	0	0	0

事業費内訳	【平成30年度予算の内訳】 委託料 3,869,000円 (内訳 AYUCOカード作成:17.5円×22,000枚×1.08=415,800円、情報誌作成:75円×22,000冊×1.08=1,782,000円、カード封入封緘業務:194,400円、郵送料82円×18,000枚=1,476,000円)
-------	---

①市民要望 ②社会的要請 ③課題	①AYUCOカードの登録世帯数は増加していることを考慮すると、市民の要望には応えられています。
	②厚木市商業まちづくり計画を策定するに当たり、主に中心市街地の五商店会からなる「厚木市まちなか活性化プロジェクト」から意見を伺い、「厚木市の人口構成をみると子育て世代の30代がピーク。その人たちが多く意識した中で、そういう人向けに商店街の人たちができることはないのか。」といった意見も寄せられており、社会的な要請があります。
	③サポーター店舗について、更に幅広い業種及び店舗の拡大が求められています。また、今後、利用者及び商店の利便性向上のため、カード及び情報誌の電子化を検討していく必要があります。

上記課題等への対応や見直しの方向性	サポーター店舗の拡充を図る必要があります。 具体的には、今年度カードの更新にあたり、既存サポーター店舗だけでなく、未登録の商店約500件を対象に新規店舗の開拓をしております。(商店会連合会に加盟している店舗には登録をお願いする依頼文を郵送するとともに、商店会連合会未加入の店舗についても、職員が店舗に出向き登録のお願いをする。)
-------------------	---

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	有
	AYUCOカードの利便性の向上と普及啓発を更に進めるため、商店会連合会に加盟している店舗に協力依頼通知を送付するなどサポーター店舗の新規開拓を平成30年度から行っております。	

近隣自治体等の状況	神奈川県(かながわ子育て応援パスポート)、横浜市(子育て家庭応援事業 ハマハグ)、川崎市(多摩区子育て支援パスポート)、相模原市(子育て応援店)、横須賀市(まちぐるみ定住応援事業すかりぶ)
-----------	--

【事業番号2】子育てパスポート事業費(事前確認・回答)

委員等事前確認事項	
1	成果指標としているAYUCOカードの新規登録者数について、市内の登録者、市外の登録者の割合は。
2	神奈川県で実施しているが、市が実施する必要があるのか。県への橋渡し役になる方向で店舗をサポートした方がよいのでは。
3	AYUCOカードは、市外在住でも登録できることを知らない世帯が多いのでは。どのように周知しているか。

担当課事前回答

市内が約97%、市外が約3%です。

AYUCOカードの前身であるエンゼルサポート事業は、「かながわ子育て応援パスポート」がする前から実施していた事業です。

「かながわ子育て応援パスポート」の場合、割引サービスなどでなく「おむつ替えスペースがある」「子ども用トイレがある」などで登録している店舗が多いため、AYUCOカードと掲載内容が異なっています。

「かながわ子育て応援パスポート」の、登録店舗3,395件のうち、厚木市内の店舗は136件です。厚木市内の店舗は136件のうち、割引等サービスを行っているのは61件ですが、AYUCOカードの登録店舗391件です。

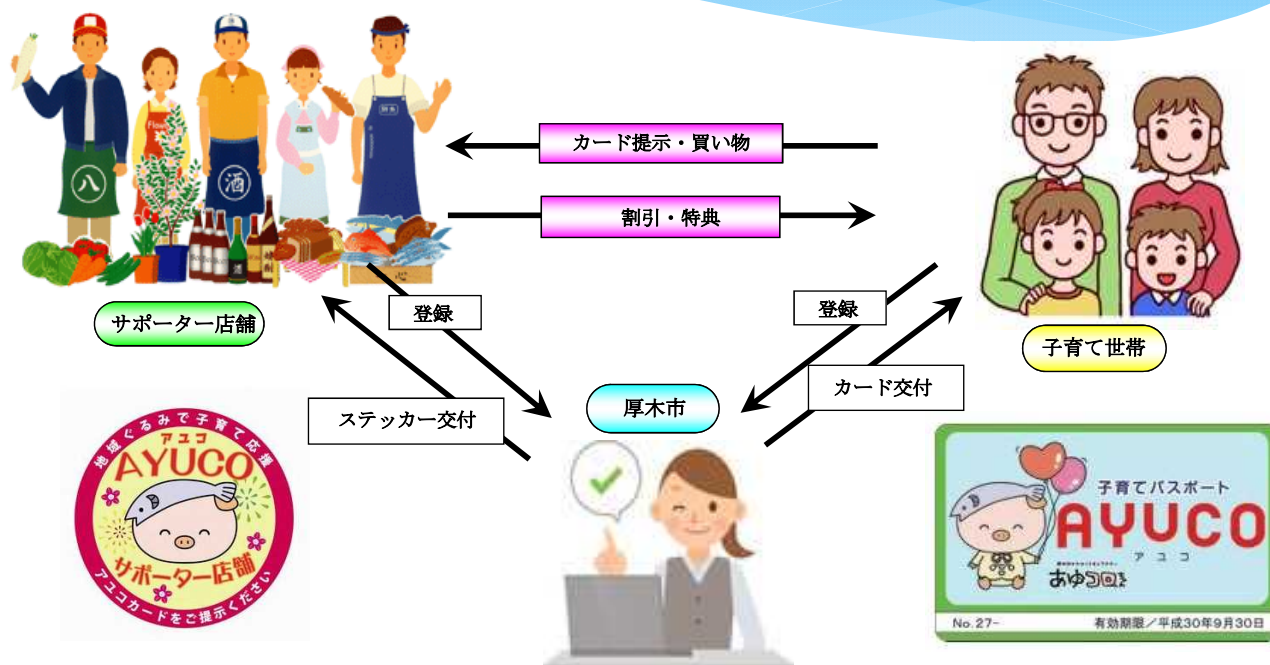
ホームページに掲載し、周知しています。

また、市外の方も訪れるアミュー8階の子育て支援センターをはじめとする公共施設にポスターを掲示するとともにチラシの配架もしています。

子育てパスポート事業

商業にぎわい課

子育てパスポート事業費の概要



子育て世帯のメリット



子育て世帯の
経済的負担の軽減



厚木市全体で
子どもたちや
子育て世帯を
応援します！

市内商店や企業のメリット



社会貢献イメージ
の向上



地域社会において
子育てを支援する
社会的理解の醸成と
商業振興に繋がります。

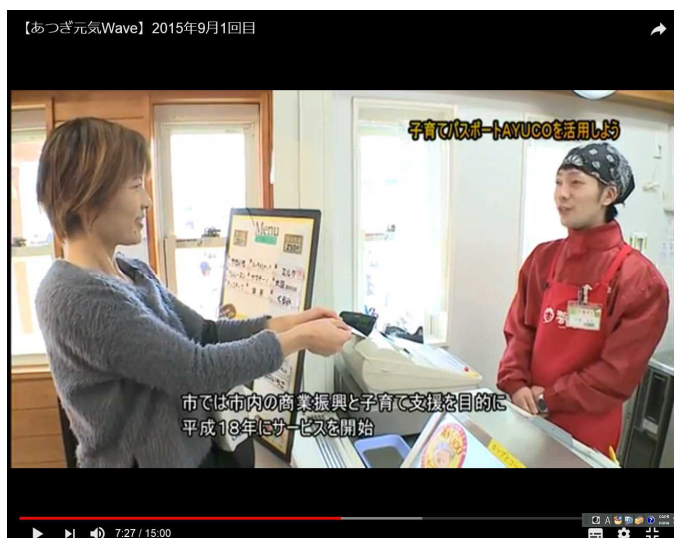
どこで利用できるの？

ガイドブック(情報誌)や市のホームページで御案内しています



利用イメージ(1/3)

2015年9月 「あつぎ元気Wave」より



サポーター店舗で
AYUCOカードを
提示



利用イメージ(2/3)

2015年9月「あつぎ元気Wave」より



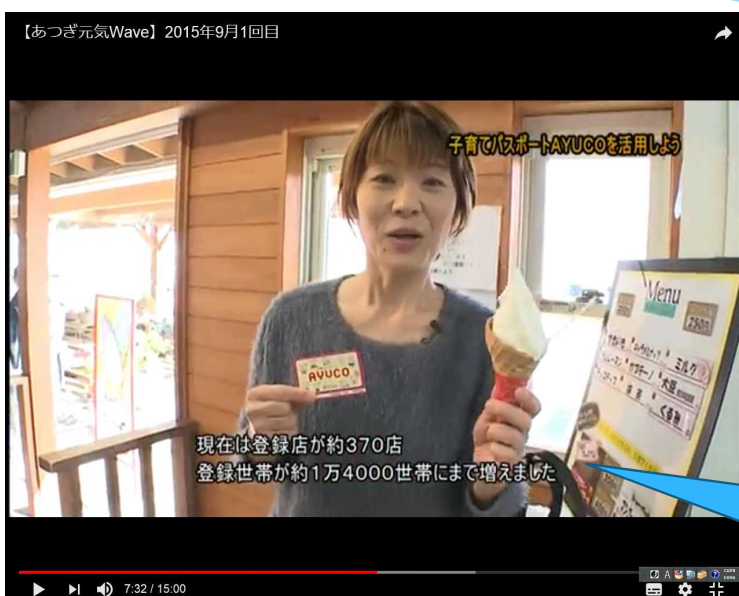
サービス提供

平成29年度末では、登録店は、391店舗、登録世帯数は、1万7381世帯です。市内の対象世帯数の約8割が登録しています。



利用イメージ(3/3)

2015年9月「あつぎ元気Wave」より



AYUCOカード提示で
ジェラート50円引き！

平成29年度末では、登録店は、391店舗、登録世帯数は、1万7381世帯です。

子育てパスポート事業は、 厚木市商業まちづくり計画に位置付けて 推進中！

